



発行所 公民館
 編集所 公民館
 印刷所 印刷所
 社内 新田商工会館内

人口 5,609人
 男子 2,688人
 女子 2,921人
 世帯数 1,451戸
 (9月1日現在)

広がりをみせる大学講座

「心が開かれたようだなー」

第三回竜丘市民大学講座「竜丘市民大学講座」を今年も開設した。去る八月二十五日、二日、二十九日の三日間、中田美穂さんが、竜丘は、比較的地域であることから、江戸時代、用水として下伊那地方で最も大きかった伊賀良井開きについて、その諸説を歴史的に説明されたい」との位置付けからスタートし、今回で三回を数えることとなった。

受講者は延べ二百二十人で全講座を受講された三十三人(内女性二十三人)の方に修了証書が授与された。初日は「竜丘と水シリーズ」

ズルその①大井の開通一と題して、前竜丘公民館長、中田美穂さんが、竜丘は、「水」との関わりが非常に大きな地域であることから、江戸時代、用水として下伊那地方で最も大きかった伊賀良井開きについて、その諸説を歴史的に説明されたい」との位置付けからスタートし、今回で三回を数えることとなった。

「たいへん美しい文章を中心に、かめばかむ程味わいがある。事件のおもしろさに欠けている点で、現在の子どもにあまり喜ばれていない様である。」と代表作「ふるさと」を紹介しながら話された。

対照的な「椋鳩十」について「片耳の鹿」を紹介しながら「野性動物のたくましさ、おもしろさ、愛情の強さ、頭よさを非常に愛おしい物語にしている。子どもにたいへん喜ばれている。」と話された。

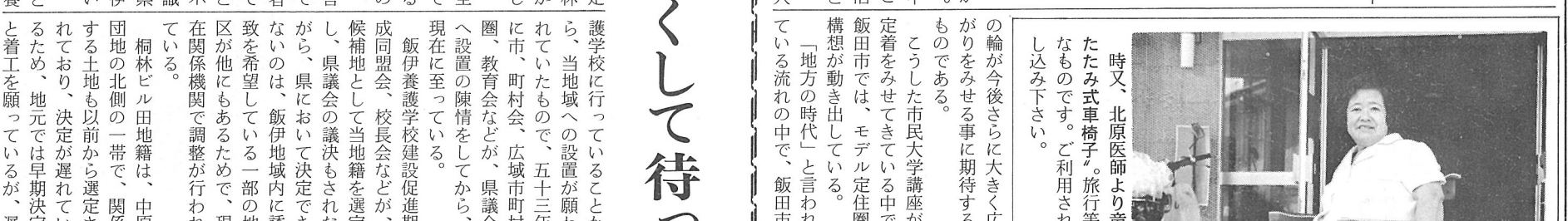
しかし一般的にテレビに毒されている子供たちが果たして読むだろうか、期待していたが、大人の責任と合わせて子供に読まれるものでなくてはならない。今一度、郷土の童話を見直してみようと思ふ。

青年会ではこの講座を青年文化祭の創作劇作成に向けて参考にと録音をとって

飯伊地域にもその対象となる児童はおり、県内の養

護学校に行っていることから、当地域への設置が願われていたもので、五十三年に市、町村会、広域市町村圏、教育会などが、県議会へ設置の陳情をしてから、現在に至っている。

飯伊養護学校建設促進期成同盟会、校長会などが、県議会の議決もされながら、県において決定できないのは、飯伊地域内に誘致を希望している一部の地区が他にもあるため、現在関係機関で調整が行われている。



時又、北原医師より竜丘支所へ寄贈された「折りたたみ式車椅子」。旅行等にも使用できるコンパクトなものです。ご利用される方は、竜丘支所までお申し込み下さい。

の輪が今後さらに大きく広がりをみせる事に期待するものである。

こうした市民大学講座が定着をみせてきている中で飯田市では、モデル定住圏構想が動き出している。

「地方の時代」と言われている流れの中で、飯田市

を、竜丘を今後どう発展させていくか、地区民の創意のぞまれる。

地区民の自治意識の向上をよしとする、社会教育として公民館での学習活動が必要であり、そうした場としての市民大学講座の今後が益々期待される。

「先生の言葉に励まされ「そうだな」と二月発行しました。参加する人は好んで農繁期ほんの少しのすきを生け花、着付、和裁の外に読む話やおしゃべり等のコーナーを設け年令性別も問わず自由で気軽に参加できる。幸い知人先輩に特技を持つ方々の協力が有り、会費は実費として半額半ボラティアの組み合わせだ。気掛りのストレス解消や、ぱりやってよかったと大喜び。スカートの作りの中からは得たものは、日常むちゃくちゃに多忙に動く人も、己を深く知り相手と向き合おうと努力する姿をキャッチして、はるばる遠くから訪れてくれたり、出張分室の希望もありそがしく頭を休めるすきとない現在。此の趣旨に賛同の方、受入もOK。互いにこもって貰い、こもっていただく為に、今迄お世話になった御礼の印としてずっと続けて行きたい。

を吸収、大変なごやかです。今年の夏は特別の暑さ、今年やらねばいつかできるの方式で農繁期ほんの少しのすきを生け花、着付、和裁の外に読む話やおしゃべり等のコーナーを設け年令性別も問わず自由で気軽に参加できる。幸い知人先輩に特技を持つ方々の協力が有り、会費は実費として半額半ボラティアの組み合わせだ。気掛りのストレス解消や、ぱりやってよかったと大喜び。スカートの作りの中からは得たものは、日常むちゃくちゃに多忙に動く人も、己を深く知り相手と向き合おうと努力する姿をキャッチして、はるばる遠くから訪れてくれたり、出張分室の希望もありそがしく頭を休めるすきとない現在。此の趣旨に賛同の方、受入もOK。互いにこもって貰い、こもっていただく為に、今迄お世話になった御礼の印としてずっと続けて行きたい。

「天竜下りとりんご狩」時又港に着く舟も多くなつた。観光客にしてみれば言わば玄関口。港周辺の整備を計ってイメージアップを!

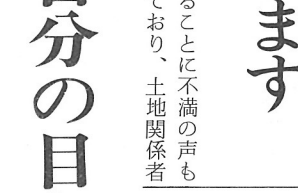
▽観光の目玉「時又の灯笼流し」三大祭りに指定されて四年目。年々華やかに。それに比例して当事者の苦勞も増加。寄付集め、準備片付けと、商売そっちのけで汗をかきかきの商店主。区民全体で「おらが町の祭り」を作るのはいつの日か?早々と変革していった市田を見習っては?

原水禁世界大会に参加して



私が、原水爆禁止世界大会へ参加したきっかけは、青年会へ入り、平和運動の一環として行われていた広島、長崎の原爆のパネル展示や、被爆者の書いた絵を見て、自分が今まで

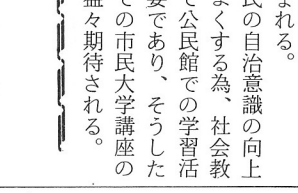
首を長くして待っています



桐林 吉川浩子

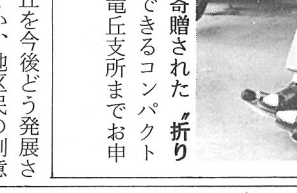
何とも知らなかった事、三十六年も前に落とされた原爆が、こんなにも悲惨で、今も多くの人が苦しんでいる事を知り、本当の現実を、自分の目で見て、受けとめて見たかったからです。

随想リレー [119]



農協生活二十年を区切り家庭にもどった。其の間皆様に支えられて無事生活指導員という役目を果たした事に感謝申し上げ、地に元々の皆様に此の紙上をお借りして御礼申し上げます。

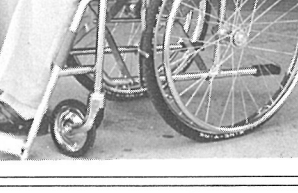
教えられたり教えたり



駄科 平栗あい子

生徒、又時にはお茶番となり文字通り教えられたり教えたりで嫁婿探しも始まる。時事問題から人生問題、昔からの言い伝え、喜びも知恵も生まれ楽しい暮らしが出来よう。互いに刺戟し合っている人生を。こころな願いをこめて……「今やらねばいつかできる、わしややらねば誰かやる。」平若人から現代を学びとり若い人は老人から先人の知恵を

大会結果



(ゲートボール大会)

八月九日(小学校家庭)

優勝 時 又分館

準優勝 長野原分館

三位 上川路分館

四位 桐林分館

五位 駄科分館

(パドミントン大会)

八月九日(小学校体育館)

優勝 時 又分館

準優勝 長野原分館

三位 上川路分館

四位 桐林分館

五位 駄科分館

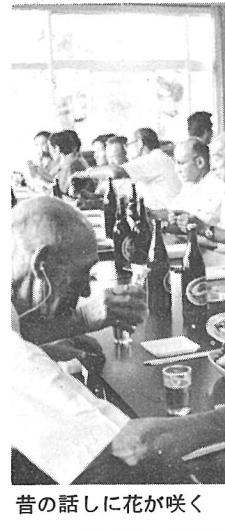
いつしよにしまいか

婦人団体連絡会発足

この竜丘には、様々な婦人グループがあり、各グループでそれなりの活動をしている。でもこれからは、もっと広い視野に立った活動が必要であるまいか。

そのような考えがもとで、去る七月三十一日、竜丘公民館で婦人グループの初会合があった。メンバーは、青年会、農協婦人部、睦会、婦人会、それに長野原と桐林の婦人学級という六つのグループの役員。

ところで、以前にも似たような婦人グループ組織があったが、残念ながら長続きはしなかった。その理由としては次の二点が特にあげられるようだ。まず、始めから張り切り過ぎ、各団体の役員の中から会の役員を決めて、結果として、役員個人にとってはかなり負担になってしまった事。も



昔の話に花が咲く

第二部に意欲を

「丘の語部たち」発刊祝賀会

公民館主催の「丘の語部たち」発刊祝賀会が八月二十三日公民館に於て、執筆者、関係者ら約七十名が出席し、盛大に行われ

この本は、民俗資料保存委員会が数年前から、人生経験豊かな古老に執筆していただいた原稿を収集し、ようやく本年度「丘の語部たち」として一冊の本にまとめ出版の運びとなったものです。

執筆者七十二名の方の中で、故人になられた方は十一名いらっしゃいましたが、当日見えた方の中で、何気なく書いた原稿がこんな素晴らしい本になった。生きていく内に、もっともっと書き残していきたいというお話しがあり、公民館でも、是非「丘の語部たち」第二部第三部と発刊して行きたいと意欲を強くしていたよう

豊かな活動の礎に

桐林公民館建設

生涯教育が叫ばれて久し、現在、社会教育としての公民館活動は、年ごとに活発になって来ている。

しかし地区民の多種多様な要求を受け入れていくには、いろいろな条件が整備されなければならない。

その第一には、各区ごとの独立公民館が必要不可欠である。

この竜丘地区内において長野原・時又が公民館を建て替え、設備も一応整い、高利用率を示している。

一方桐林区では、老朽化している現公民館を建て替える事になり、総予算三千五百万円として、県へ補助金申請をした。

当初補助金八百万円を見込んでいたが、六月三十日付で、六百万円と決定して来ている。

桐林区では、早急に建設委員会などを発足させて、資金、設計、設備等検討して建設に伴う施設、規模につ

小学校建設準備会が発足

竜丘の特色を

竜丘小学校の改築については、第一期工事が昭和五十年に完成してあります。残る第二期工事については、昭和五十七年度中に建設される予定です。

これに伴い、七月二十八日に竜丘小学校及び資料館建設準備会が発会しました。構成メンバーは、自治会・財産区・公民館・PTA・小学校・市会議員の計三十七名で、会長は自治会長が選任されました。

準備会において、小学校建設に伴う施設、規模につ

二十才に思う

伊坪和子

一言に、二十歳とは、一悲しいような気分です。またこの節であり、何かを覚えようという、チャンス年でもあると思う。だからと言って、二十歳になったから、あれをしよう、これをしようというわけにはいかず、物言には、「道理」「弁」が必要だと、社会に出た私は感じました。

自分一人では何もできず言われたことだけをして、二年前に比べ、今は、二十歳になり、社会に出て二年目ということで、自分から進んで物事に取り組んでいます。

また、不思議なことに、二十歳と言われると、大人になって、一人前だと、胸に秘め、物事に携りためられ、うれしいような、いと考えている。

塚平 茂

去る八月十五日、竜丘地区では約七十名の出席者で晴れの成人式を迎える事が出来ました。

僕は成人式の実行委員になって準備から参加した。準備から参加した。準備から参加した。

自分分はこれでいいのだろうかとか考えている事があります。社会人としての責任は果たしているのかとか、自分の事だけ考えていけばいいのかとか考えています。それにはもっと社会の事をよく知り、自己を高めていく事が大切だと思えます。その為にも新聞を読んだり、ニュースを聞いたりして勉強していきたいと思えます。

又、今青年会に入っていますが、地域の人達との交流や、話し合いによって地域の問題を見つめ、地域を考えていきたいと思います。

そして、一日一日を大切に生き、一日も早く社会に貢献できる様な立派な人間になりたいと思えます。

グループ紹介

おはやしクラブ

パチンコなど、娯楽用具、施設が整った今、又、物も豊富にあり、あきたりてきている今日、自分が興味をもち、自分達の手で物を作りたい、出したい、そんな風潮が盛り上がりつつある中、おはやし、生まれてきたグループと言えましょう。

時又区には、昨年、百万円余もする大きな太鼓が寄贈され、なんと活用する道はないかと考えて、決定されたそう、現在会員は二十名程、腕に覚えのある人から、まったくの未経験者もいて、年齢も、六十歳に近い人から、二十歳までと人材も豊富です。

今年八月には、区内盆踊り大会のやぐらの上で、氣勢をあげ、区民の評判も上々だったようです。

通常、「おはやし」というものは、太鼓に笛、つづみ、みやみや線、かねなどが活躍するものなら、これらの人達とも協力し、復活させたいと、期を待たしています。

「時又・おはやしクラブ」は、歩き出して間もないグループで、今後、課題、問題も多くあると思えますが、時又の公民館に明るく、楽しい音色が響きわたる事を希望するようです。



早く笛が欲しいナー

が一台つしかなく、他の道員は、今後、だんだんに準備していくそう、それら道員が揃っていく段階で、講師をお願いしたいとの希望もあるそうです。

時又地区の、小学生、中学生達にも参加してもらい、一緒に練習する中で、故郷づくり、思い出づくり、役に立たせていきたいとの希望もあるそうです。

「時又・おはやしクラブ」は、歩き出して間もないグループで、今後、課題、問題も多くあると思えますが、時又の公民館に明るく、楽しい音色が響きわたる事を希望するようです。

あの人 この人

八月十七日 (八月三十一日届出)

八月三十一日届出

永遠に幸あれ

御冥福を祈る

林 秀	桐林	下平 雅規	駄
大東 佳子	松川町より	中島健太郎	桐 武夫
藤原 勇	鼎町より	牧島 祐介	駄 恒夫
熊谷美智子	駄科	氏 名 部落	性別 齢
原 弘	阿智村	木下 廣司	男 81
塩澤 育子	桐林より	笹岡 正代	女 67
伊藤寿美	時	塚平 文子	女 31
今村 由恵	時	伊藤寿美	女 85
氏 名 部落	父 名	今村 由恵	女 79
前澤 盛富	正信	氏 名 部落	
池之側祐一	國秀	氏 名 部落	
原 奈緒	桐	氏 名 部落	
関島 隆佳	久志	氏 名 部落	
熊谷 都	隆夫	氏 名 部落	
加藤 敬至	則夫	氏 名 部落	
小林 好夫	優	氏 名 部落	
樋口 智沙	積	氏 名 部落	
井口 幸世	克司	氏 名 部落	
筒井美奈子	昇治	氏 名 部落	
増田奈美子	保治	氏 名 部落	
前島 正治	孝	氏 名 部落	
澤柳 直子	元登	氏 名 部落	
下井田 直子	敏彦	氏 名 部落	
今村理絵子	伸一	氏 名 部落	
	晴雄	氏 名 部落	

編集後記

天高く馬肥ゆる秋。食膳には秋の味覚が顔を並べ、食欲をそそる季節です。またスポーツの秋ともいわれ、体を大いに動かすと同時に、この秋は教養を身につける秋にもしたいもの

館報第一六六号をお届けいたします。是非読んでいただき、是非直直な意見、感想を公民館までお寄せ下さい。